



Kurti daugiakultūrį
miestą,
Burti bendruomenes:

Sugiharos savaitės
atvejis

Aurelijus Zykas

Kauno-Japonijos draugystės asociacija

Azija LT

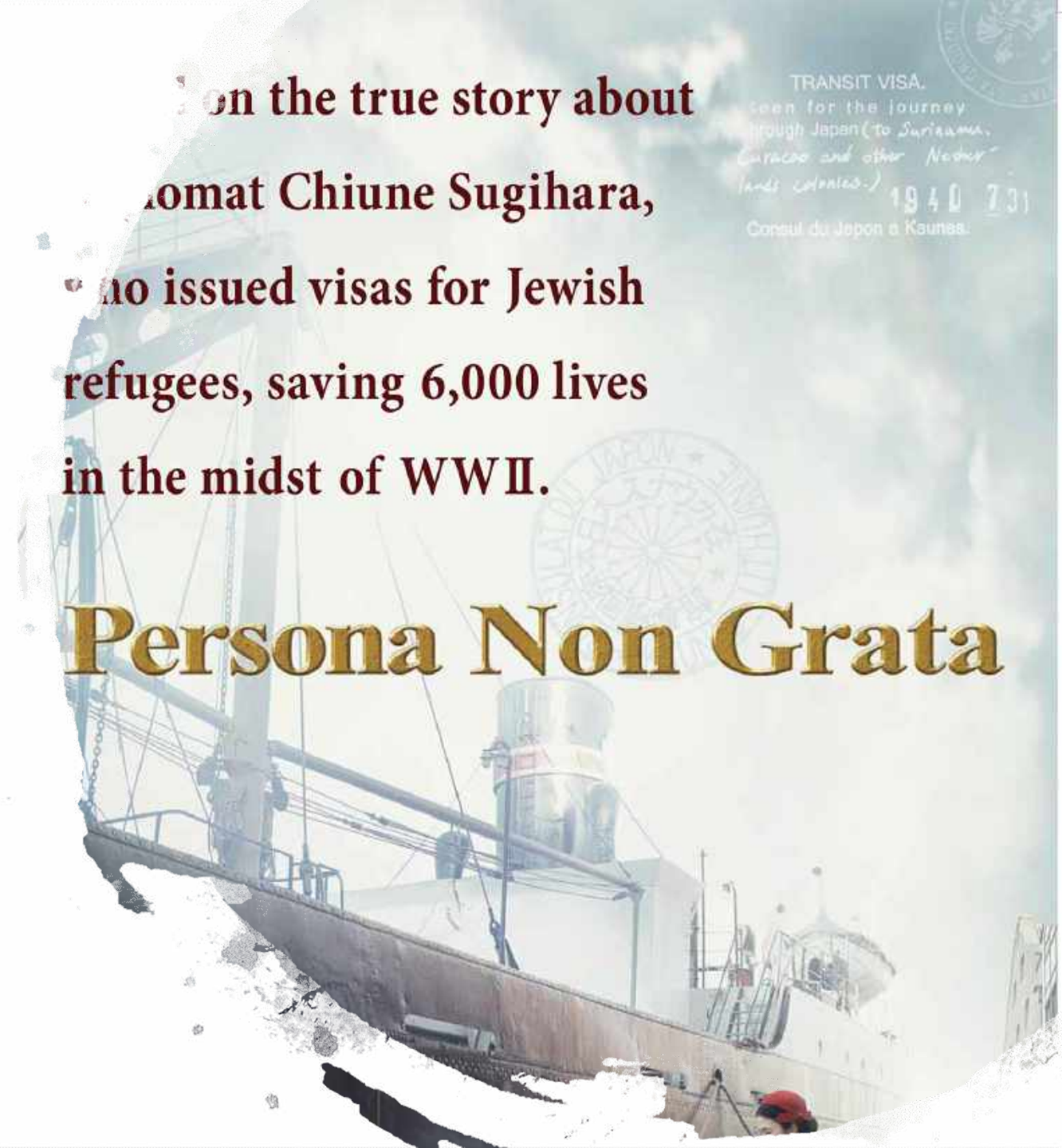
„Gyvybės vizų“ istorija

- 1939: Prasideda Antrasis pasaulinis karas
- 1940: Sugihara išduoda „Gyvybės vizas“
- 1940: Išgelbėtieji pasiekia Japoniją
- 1941-45: Išgelbėtieji pasiekia naujas tėvynes

Learn the true story about
Ambassador Chiune Sugihara,
who issued visas for Jewish
refugees, saving 6,000 lives
in the midst of WWII.

Persona Non Grata

TRANSIT VISA.
Issued for the journey
through Japan (to Surinam,
Curacao and other Neder-
lands colonies.) 1940 73
Consul du Japon a Kaunas.





Neužtenka kurti atminimo vietas
Atminimas turi būti įprasminamas ir
perduotas ateičiai

- Svarbios vertybės:
humanizmas, tolerancija,
drąsa, gebėjimas eiti prieš
srovę;
- Gyvename laikmetyje, kuomet
šios vertybės tampa vis
svarbesnės.

Istorija, kuri jungia

- Geografinė jos erdvė – visas pasaulis;
- Draugiškų ryšių tinklas, sujungiantis tautas ir kultūras;
- Sugiharos istorija padeda vystyti ryšius įvairiose plotmėse.





Sugiharos savaitė kaip paprastų miestiečių iniciatyva

- Idėja prie kavos puodelio;
- Atsitiktinumų virtinė;
- Mūsų vienybė ir stiprybė: įvairovėje;
- Pozityvus požiūris iš Kauno miesto;
- (Šaukštas deguto medaus statinėje... biudžetas)



カウナスが最初に言及されたのは1361年、そのすぐ後にマクデブ都市として認められました。1441年には、ハンザ同盟として知られる都市の商業と防衛の同盟に参加しました。その後リトアニア大公国と共々一つの共和国に、そして18世紀後半にはロシア帝国の領土となりました。(ちなみにリトアニア語はロシア語のようなスラブ語派とバルト語派というグループに属していて、ロシア語とは全然似ていません)リトアニアの独立宣言は1918年に調印され、その2年後、ポーランドに併合された首都ヴィリニウスに代わってカウナスが首都になりました。

杉原千畝ルート

- ① 杉原記念館**
Virginto g. 30
第二次世界大戦が終った頃、ユダヤ人の子供は大量のユダヤ人の命を救ったため、杉原千畝は英雄として知られるようになった。杉原千畝は2000年から小さな博物館として開かれ、日本人観光客だけでなく、多くの人々が訪れる場所となっている。2008年には日本政府の援助を受け改装されました。また、ここでは「命の外交官」杉原千畝基金の拠点でもあります。ユダヤ人を救うため「命のパス」に署名をしたオランダ領事ヤン・ツバルテンディックの功績を称えた特別な展示も見る事ができます。
- ② ホテル メトロポリス**
S. Daukanta g. 31
第二次大戦が始まってからしばらくして、日本領事館が閉鎖され、杉原千畝は当時人気だったこのホテルで暮らし始めた。ここに滞在していたユダヤ人のユダヤ人から逃れようとする人々のために、杉原千畝はパスを書き続けた。2015年にはホテルの正面に杉原の記念プレートが設置された。
- ③ カウナス鉄道駅**
H. K. Čiurlionis g. 16
杉原千畝の記念プレートが置かれている現在の駅舎は第二次世界大戦の後に建てられたもので、以前の駅舎は戦火中に焼失してしまいました。それでも、日本からの命令で杉原千畝が「リトアニアを去ったのは戦が止まった場所でした。彼は列車が駅を離れてゆくまで最後の瞬間まで、追客から逃れようとする人々のためにパスを書き続けた。
- ④ 杉原講堂とツバルテンディック講堂**
Gedimino g. 44
ヴィタクニス・マガヌス大学の政治学部にある杉原講堂は2008年に公開されました。このホールは日本からのゲストがアジア研究に関する講演やセミナーを行う際に使われています。講堂の前にはオランダ人のヤン・ツバルテンディックの名前があります。彼もまた、杉原千畝と同じくユダヤ人の命をホロコーストから救った外交官です。
- ⑤ カウナスピクチャーギャラリー**
K. Donelaičio g. 15
世界最長のFLUXUS(フルクス)運動の組織者であるコルネリス(ジョージ)・マチュナスはカウナスで生まれました。彼が幼少時に移住した家の近くにあるこのギャラリーでは、日本人アーティストの展覧(近い将来)の作品「プラックホール」を見ることが出来ます。また、ここではTakao Saitoの「Mario Mario Theatre」のホームでもあり、多くのリトアニアとアジアの展覧会を開催しています。ぜひ、FLUXUS展覧会を見るだけでも十分にあります。
- ⑥ オランダ領事館**
Lutėvų st. 42
記念プレートが設置されているのは、オランダ領事館として使われていた建物です。ここでは、ヤン・ツバルテンディックの功績を称えた特別な展示も見る事ができます。

11
12
13
AUR
H. Dou
AJRA
けるコ
た、AUR
では分
たは
てい
録
A
Am
201
ク
ディ
は

- 2017 ir 2018: apie 50-60 renginių;
- Apie 6-7 tūkst. lankytojų;
- Apie 300 svečių iš užsienio;
- Iššūkiai 2020 savaitei

Kurti daugiakultūrį miestą



Ačiū už dėmesį!

Aurelijus Zykas
azijalt@gmail.lt